

(別紙)

令和5年度障害福祉分野のICT導入モデル事業 事業報告書

自治体名 福井県

【基本情報】

フリガナ	トクテイヒエイリカツドウホウジンアオゾラフクイ
法人名	特定非営利活動法人 A O Z O R A 福井
フリガナ	ホッコリアオゾラ
事業所名	ほっこりAOZORA
提供サービス（複数のサービスを提供している場合は、主たる1つのみ選択）	
放課後等デイサービス	
職員数（常勤換算数）【「全職員の月間勤務時間数」÷「常勤職員の月間勤務時間数」にて算出（産休・育休、休職は除く）】	
4.0人	

(1) ICT機器等導入前の定量的指標及びICT機器等導入後の定量的指標

① ICT機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発件数		C.1件当たりの平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり業務時間 (D÷業務従事者数)
		A.ひと月当たり発件数	B.年間発件数 (A×12)			
支援記録の作成	4人	220件	2,640件	30分	1,320時間	330時間
			0件		0時間	#DIV/0!
			0件		0時間	#DIV/0!
		220件	2,640件	30分	1,320時間	#DIV/0!

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A. ひと月当たり発件数の算出方法

1日10名(利用者)×22日(営業日) 220件

② ICT機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発件数		C.1件当たりの平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり業務時間 (D÷業務従事者数)
		A.ひと月当たり発件数	B.年間発件数 (A×12)			
支援記録の作成	4人	220件	2,640件	15分	660時間	165時間
			0件		0時間	#DIV/0!
			0件		0時間	#DIV/0!
		220件	2,640件	15分	660時間	#DIV/0!

以下の※3及び※4については、ICT機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※3>A. ひと月当たり発件数の算出方法

<※4>C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

1日10名(利用者)×22日(営業日) 220件

年間業務時間数削減率(%)

50.0%

※作成文書量は該当する文書がある場合に限り入力すること。

③ ICT機器等導入前の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
支援記録表	220ページ	2,640ページ
		0ページ
		0ページ
	220ページ	2,640ページ

④ ICT機器等導入後の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
支援記録表	150ページ	1,800ページ
		0ページ
		0ページ
	150ページ	1,800ページ

年間作成文書量削減率(%)

31.8%

(2) 削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

機器が増えたことで、入力の待ち時間がなくなり打ち込みのロスがなくなりました。

(3) ICT機器等の導入により得られた気づきや今後の課題等について必ず記載すること。

機器が足りないときは 機器の空いているときに合わせて五打込みをしていました。

現在は、支援に合わせて打ち込みができることで 職員の負担が減り 支援に集中できるようになっています。

(4) 費用面での効果（ICT機器等の導入による費用の削減の有無を必ず選択すること。）

ICT機器等の導入による費用の削減 有

ICT機器等の導入による費用の削減が「有」の場合、以下を回答すること。

削減額(円)	
職員の賃上げ等への充当	有
その他職場環境の改善への充当(※1)	有
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	有

(※1) その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

機器の充実により時間ができた。
その時間で、職場環境の見直しや充実のためAIによる

(※2) サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。

支援で社会性の集団ワークを行っているが、機器の充実により時間ができた。
その時間で、今までの社会性の集団ワークを集計整理して、AIによる